2025 年 3 月 27 日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

# 「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」、自動脆弱性診断の結果画面をリニューアル

## ～CVSS スコアによる脆弱性評価と PoC タグで脆弱性の対応優先順位付けを速やかに～

GMO インターネットグループでサイバー攻撃対策事業を展開する GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（代表取締役 CEO：牧田 誠　以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ）は、2025 年 3 月 27 日(木)に、ホワイトハッカーのノウハウを集約したアタックサーフェスマネジメント（Attack Surface Management、以下、ASM）(※1) ツール「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の自動脆弱性診断の結果表示画面をリニューアルしました。

今回のリニューアルでは CVSS スコア(※2)を用いて客観的な脆弱性の危険度を提示し、さらに検出された脆弱性を実証するためのプログラムが公開されている場合は「PoC（Proof of Concept code　以下、PoC）」というタグを付与します。これによりユーザーが検出されたセキュリティの問題の一覧の中から、どれを優先的に対応すべきか速やかに判断(トリアージ(※3))できるようになります。


(※1) IT 資産の脆弱性やリスクを継続的に検出・評価する取り組みのこと。

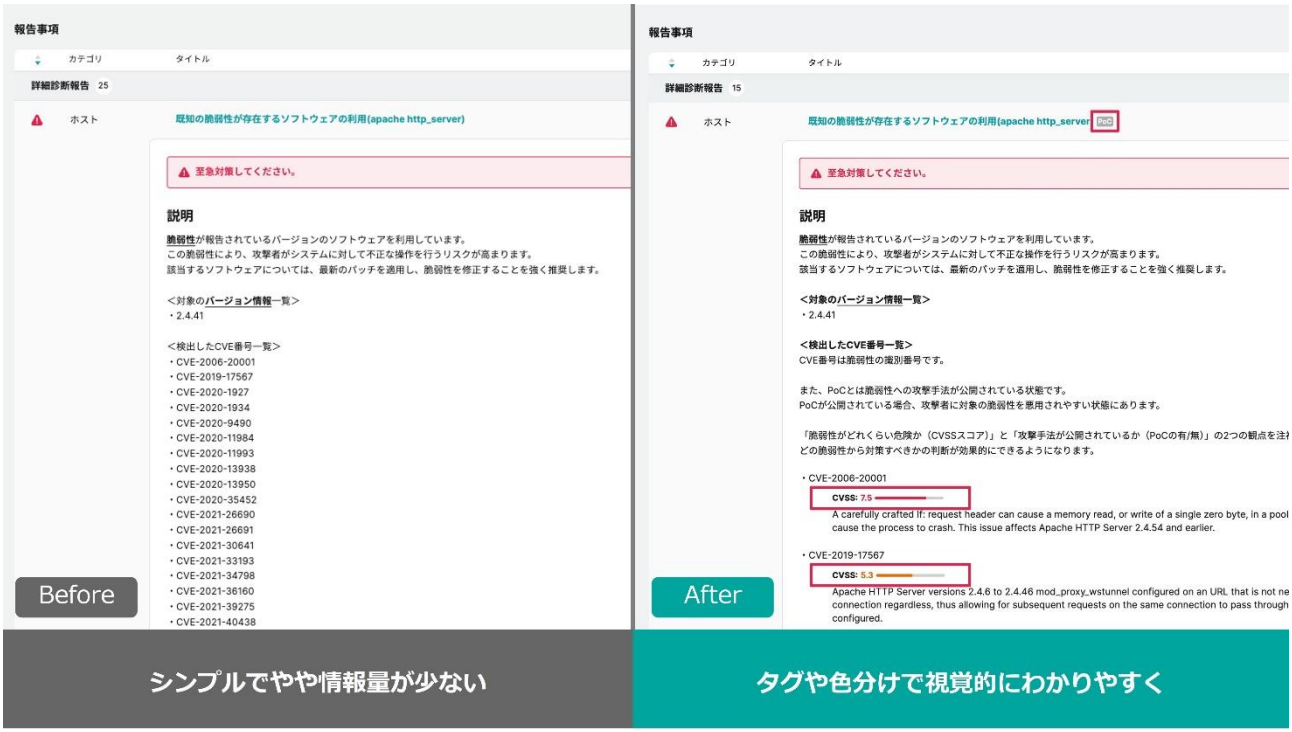
(※2) Common Vulnerability Scoring System の略でシステムやソフトウェアが持つ脆弱性の深刻度を評価する国際的な指標のこと。

(※3) 脆弱性対応の優先順位や緊急度を判断する一連の評価と選択のこと。元々は医療の現場で使われる言葉で、事故現場などで多数の負傷者を評価し、治療の優先順位を決定することを意味する。

## 【これまでの自動脆弱性診断結果表示画面との比較】

これまでの「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の自動脆弱性診断では、診断結果として脆弱性の概要説明、対象のバージョン情報、検出した CVE(※4)の一覧を表示していました。今回のリニューアルでは「その脆弱性がどれくらい危険か」「早急に対処すべき問題であるか」をユーザーに適切に伝えるため、CVE ごとの脆弱性の危険度を CVSS で評価するとともに、さらに脆弱性を実証するためのプログラム(PoC)が公開されている脆弱性においては攻撃者に悪用される可能性があり、迅速な対応が必要なことが、一目でわかるようタグ付けを行う仕様をアップデートしました。

(※4) Common Vulnerabilities and Exposures の略で、公開されているセキュリティ上の脆弱性を識別するための共通の識別子のこと




## ■CVSS スコアとは

CVSS(Common Vulnerability Scoring System)とは、共通脆弱性評価システムと呼ばれる、情報システムの脆弱性に対するオープンで汎用的な評価手法です。ベンダーに依存しない共通の評価方法として、脆弱性の深刻度を同一の基準の下で定量的に比較するために用いられます。

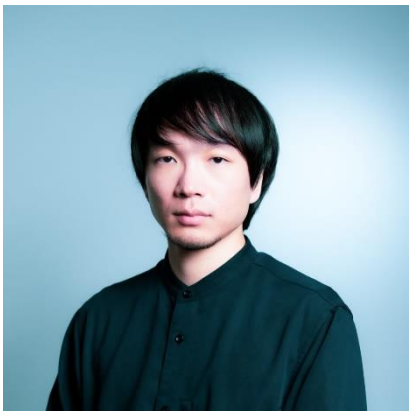
(参考)https://www.ipa.go.jp/security/vuln/scap/cvss.html

## ■PoC(Proof of Concept code)とは

「PoC」は Proof of Concept の略であり、日本語では概念実証と訳されます。サイバーセキュリティ分野においては、主に公開された脆弱性が実際に悪用できるかどうかを実証するためのプログラムやコード(エクスプロイト・コード)を指します。PoC が公開された脆弱性は、攻撃者により悪用される可能性を考慮して早急に対処する必要があります。

## 【脆弱性トリアージの重要性】

### ■「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」サービス責任者　市川 遼のコメント



限られた時間とリソースの中で、脆弱性対応を効率的に進めるためには、トリアージが不可欠です。サイバー攻撃のリスクが高まる現代では、新たな脆弱性が次々と発見されており、すべてを即座に対応することは現実的ではありません。そのため、危険性の高い脆弱性から優先的に対処することが求められます。

特に、PoC が公開された脆弱性は、攻撃者が容易に悪用できるため、短期間で攻撃の件数が急増する傾向にあります。その結果、標的となるリスクも格段に高まります。したがって、PoC が公開されている脆弱性から優先的に対処することは、トリアージの重要な判断基準の一つです。

## 【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」について】(https://product.gmo-cybersecurity.com/net-de-shindan/lp_enterprise/)

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」は、簡単かつ直感的に使用が可能な国産 ASM ツールです。お客様の社名やサービス情報、IP アドレスをもとに、攻撃対象となる可能性がある Web サイトやネットワーク機器を特定し、定期的なセキュリティ診断を実施します。これにより、自社 IT 資産の棚卸とリスクの可視化を行うことができます。

## 【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】(https://gmo-cybersecurity.com/)

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、国内最大規模のホワイトハッカーで組織されたサイバーセキュリティのプロフェッショナルカンパニーです。GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、「世界一のホワイトハッカーの技術力を身近に」を目指して、各種脆弱性診断、ペネトレーションテスト、セキュリティコンサルタント、SOC サービス、フォレンジック調査まで包括的にサイバーセキュリティ対策サービスをご提供します。

以上

---

**【報道関係お問い合わせ先】**

●GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
マーケティング部　広報担当　伊礼
TEL：03-6276-6045
E-mail：pr@gmo-cybersecurity.com

●GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部　PR チーム　田部井
TEL：03-5456-2695
お問い合わせ：https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/

**【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社】（URL：https://gmo-cybersecurity.com/）**

| | |
|---|---|
| 会　社　名 | GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社 |
| 所　在　地 | 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー |
| 代　表　者 | 代表取締役 CEO　牧田　誠 |
| 事 業 内 容 | ■Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ペネトレーションテスト<br>■不正利用(チート)診断　■IoT 脆弱性診断　■自動車脆弱性診断<br>■フォレンジック調査　■CSIRT 支援　■クラウドセキュリティ診断<br>■クラウドセキュリティ・アドバイザリー |
| 資　本　金 | 1 億円 |

**【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：https://www.gmo.jp/）**

| | |
|---|---|
| 会　社　名 | GMO インターネットグループ株式会社　（東証プライム市場　証券コード：9449） |
| 所　在　地 | 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー |
| 代　表　者 | 代表取締役グループ代表　熊谷　正寿 |
| 事 業 内 容 | 持株会社（グループ経営機能）<br><br>■グループの事業内容<br>インターネットインフラ事業<br>インターネットセキュリティ事業<br>インターネット広告・メディア事業<br>インターネット金融事業<br>暗号資産事業 |
| 資　本　金 | 50 億円 |